

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)恵庭物流センター計画新築工事	階数	地上3F 地下1F
建設地	北海道恵庭市	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	425 人
地域区分	2地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2024年6月13日
敷地面積	29,972 m ²	作成者	株式会社大林組
建築面積	17,748 m ²	確認日	2024年6月13日
延床面積	51,305 m ²	確認者	株式会社大林組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 北海道恵庭市に計画された物流倉庫である。 リサイクル材や節水器具の採用等により環境負荷の低減に配慮している。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い内装材・外装材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと